

八女

広報 YAME 令和元年

2019

9

No. 1169

あかりとちゃっぽんぽん

2~3

八女福島の燈籠人形

4

9月のイベント

5

幼児教育・保育の無償化

6

水面に揺らめく願いの灯籠

8月16日(金)、上陽町の星野川寄口橋一帯で「八女上陽万灯流し」があり、約300個の灯籠が川面に浮かびました。地元園児や高齢者の方が絵付けした灯籠や、当日子どもたちがそれぞれに絵や願い事を書いた灯籠が流されました。夕暮れの川を淡い光を放ちながら、灯籠がゆらゆらと水面を流れる様子はとても幻想的でした。



あかりまつい

9/14(土) 光と音楽の花火大会

●日時 9月14日(土)

※荒天時は9月16日(祝)に延期。
16日が荒天の場合は変更内容を
八女市ホームページやFM八女
にてお知らせします。

●場所 宮野公園周辺(べんが
ら村横)

●内容 矢部川に映る2千発の
花火と音楽のコラボレーション
で八女の夜を彩ります。

《17時》 露店での販売

《19時55分》 市長あいさつ、
点火宣言

《20時》 花火大会(約30分)

●主催 八女のまつり花火部会

●交通規制時間 9月14日(土) 19
時~21時30分

●問い合わせ 茶のくに観光案
内所 (☎22・6644)

交通規制・駐車場配置図



⑤駐車場 (17時~22時) ※22時に施錠します。

①総合体育館=300台 ②南中学校=250台 ③JA立花地区
センターおよびJA立花支店=230台 ④八女伝統工芸館=170台 ⑤公立八女総合病院(南側駐車場のみ)=200台

●駐車場およびその周辺道路は大変な混雑が予想されますので、
乗り合わせか自転車などでご来場ください。なお、駐車場以外の
駐車はご遠慮ください。●夜道は暗いので、懐中電灯を持参
しましょう。●車両通行止め区間は、自転車は押して歩きましょう。

今年も、「あかり」をテーマに開催する八女のまつりのオープニング
イベントとして「光と音楽の花火大会」を実施します。

270年以上の歴史を持つ国指定重要無
形民俗文化財の「八女福島の燈籠人形」。
この燈籠人形の「燈り」と、国指定伝統的
工芸品の八女提灯の「灯り」。また八女は
電照菊の発祥の地として全国的に有名なこ
とから、「あかり」をテーマに八女の伝統
文化・産業をアピールし、「八女福島の燈
籠人形」を伝承していきます。
※イベントの開始時間や地図等は祭り直前
の新聞折込チラシでお知らせします。

9/14(土) 鮎のつかみ取り

同日開催!

●日時 9月14日(土)

▽1回目 14時30分

▽2回目 15時30分

●参加費 1回200円

(1人1回まで。先着順で
受付)

●場所 べんがら村子ど
も用プール

●対象 小学生以下

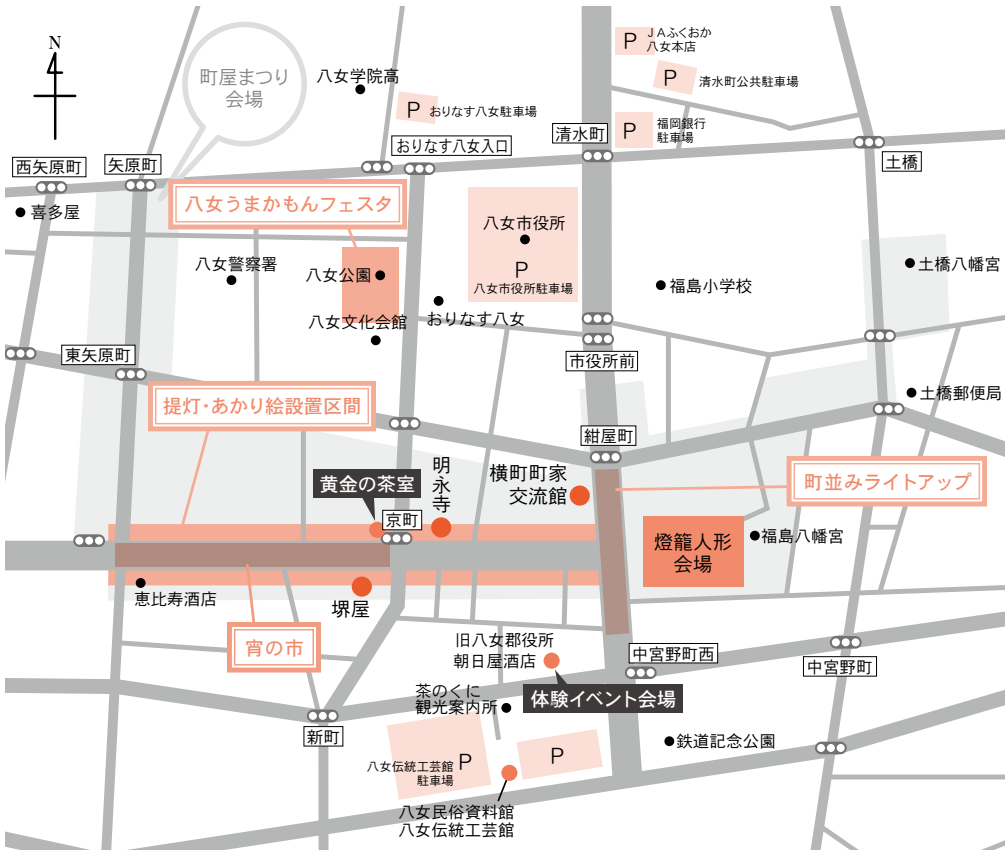
※つかみ取りした鮎はそ
の場で塩焼きした鮎と交
換をします。生のままの
鮎は持ち帰ることはでき
ません。

問い合わせ=
八女の祭り実行委員会事
務局・八女市役所観光振
興課 (☎23・1192)

9/21(土)
22(日)

あかりをテーマとしたイベント

9月21日(土)、22日(日)は八女福岡の燈籠人形を中心に、さまざまなイベントが開催されます。また、今年は八女福岡の町並みに市を開き、地酒や露店販売で皆さんをおもてなしします。祭りに関する情報をあかりとちやっぽんぽん公式ホームページ <https://yame.love/> にて紹介しています。



※今年度八女農業高校駐車場は利用できません。

【あかり絵コンテスト】

●内容Ⅱ地域の企業や子どもたちが思いの絵を描いて作る「あかり絵」が八女の町並みを彩ります。各団体の個性あふれる作品は一見の価値あります。作品は福岡の町並みや八女公園周辺に展示します。※今年はパレードを実施しません。



●日時Ⅱ9月21日(土)18時30分～
審査発表(八女公園ステージ)

【シート・ショートフィルムフェスティバル】

●内容Ⅱ2日間限定で八女福岡の町並みが会場となり、短編映画を上映いたします。子どもから大人まで楽しめるプログラムをぜひお楽しみください。また、旧八女郡役所等で子ども向けの体験イベントも開催します。そちらもお立ち寄りください。



【八女うまかもんフェスタ、ステージイベント】

●内容Ⅱ八女の飲食店等約30店が軒を連ね、各店自慢の「うまかもん」を提供します。特設ステージでは地元のグループ等による歌や踊りで会場を盛り上げます。

※友好交流都市の奈良県吉野町からの特産品等の販売があります。

●日時Ⅱ9月21日(土)、22日(日)11時～20時

【宵の市】

●内容Ⅱ福岡の町並みに八女の伝統的工芸品である提灯を飾ります。また、通り沿いに市を開き、地酒や様々な露店販売で皆さんをおもてなしします。

●日時Ⅱ9月21日(土)、22日(日)12時～20時

●会場Ⅱ京町交差点付近から恵比寿酒店まで



【黄金の茶室inHACCO】

●内容Ⅱ長さ約6メートルのコンテナ内に八女の職人技を結集した黄金の空間が広がります。八女の文化と伝統工芸の技を世界に向けて発信します。

9月21(土)・22(日)・23(祝)

国指定重要無形民俗文化財

「八女福島の 燈籠人形」公演

今年の芸題

「薩摩隼人国若丸巖島神社詣」

会場 福島八幡宮境内

公演日時

〈口開け公演〉 9月20(金) 20:00 ~

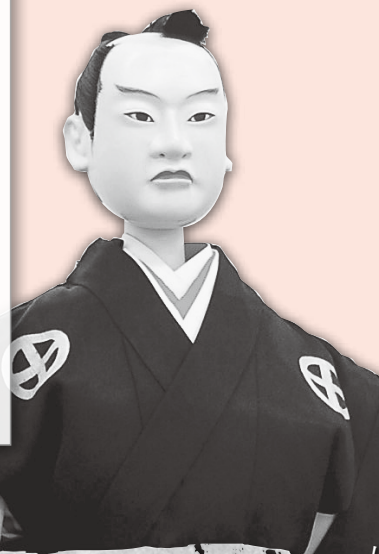
〈本公演〉 9月21(土)・22(日)・23(祝)

① 13:30 ~ ② 15:00 ~ ③ 16:30 ~ ④ 19:00 ~ ⑤ 20:30 ~

※1回の公演時間は約30分

主催 八女福島の燈籠人形保存会

問い合わせ 文化振興課 (☎24・8163)



八女福島の燈籠人形は、延享元年(1744)の放生会に人形の燈籠が奉納されたのが始まりと言われています。その後、明和9年(1772)に初めて人形が動くようになりました。舞台の左右の袖から繰り出す9本の長い棒と舞台上からの操作で人形を操ります。戦前までは氏子11町内の当番制で奉納上演していましたが、現在は福島校区23町内で保存会を結成し受け継いでいます。昭和52年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

薩摩隼人国若丸巖島神社詣

《ものがたりのあらすじ》

江戸時代のはじめ、慶長の頃、薩摩の守の若君・島津国若丸は、戦での勝利とお家の安全を祈願するため、家老の新納武蔵守を従えて、安芸の宮島に鎮まる巖島神社に詣でました。

社前には桜が舞い散り、朱色の大鳥居の影も瀬戸の水面に映え、ひと際のどかな眺めです。しばし若君とお供がその情景にひたっていた時、はるか前方より五色の水柱が立ちのぼり、あわてふためく兩人の前に現れたのは、巖島の尊い神の御姿でした。驚き喜ぶ兩人をさらに祝福するかのよう、に、後方の社殿あたりから雅楽の調べとともに、見目麗しき弁財天の舞姿も立ち現われました。

巖島の神は戦での勝利を、弁財天は島津家の安泰を約束するかのよう、ともにご神霊を願ったのです。巖島でのご加護に深く感謝しつつ薩摩への帰路につきました。

9/21(土)
~23(祝)

町屋まつり

- 会場 八女福島町並み
- 期間 9月21(土) ~ 23(祝)
- 内容 Ⅱ

【21(土)】 子供和太鼓 14時 ~ 16時 池坊ミニ花展 10時 ~ 20時 (堺屋和室)

【22(日)】 和太鼓の競演 (昼の部) 14時 ~ (夜の部) 19時 30分 ~ 5メートルの手巻き寿司作り 実演 ① 11時 30分 ~ ② 12時 ~ (堺屋) 手作り線香体験と八女の水車パネル展示 11時 ~ 15時 (横町町家交流館) 子供和太鼓 (八女公園ステージ)

抹茶席 13時 ~ 16時 (このみ園ギャラリー) 大茶会・福島高等学校茶道部 13時 ~ 16時 (正福寺)

池坊ミニ花展 10時 ~ 17時 (堺屋和室)

【21(土) ~ 22(日)】 ミニ提灯絵描き体験 11時 ~ 16時 (伊藤勘助商店)

【22(日) ~ 23(祝)】 人力車町並み散策 12時 ~ 21(土) ~ 23(祝) 和蛸燭職人技実演 11時 ~ 17時 (房屋) 櫓の魅力いろいろ展 11時 ~ 17時 (房

屋) 職人技実演 (木屋民芸)・

絵画展 (池田教室) 10時 ~

20時 塗り塗り箸作り体験

10時 ~ 16時 (緒方仏壇本店)

癒しのあかり竹ランプ展

10時 ~ 17時 (堺屋土蔵内)

※この他にもさまざまなイベントを実施します。



●問い合わせ 町屋まつり部会 江口さん (☎090・2507・6901)

麻生神社に奉納される伝統芸能



「風流・はんや舞」

五穀豊穡、国家安全、晴雨祈願のため、池の山の麻生神社に奉納される伝統芸能「風流・はんや舞」が上演されます。(福岡県指定無形民俗文化財)

- 日時 9月15日(日)10時開演
- 場所 星のふるさと公園(池の山)屋外ステージ ※雨天時は「そよかぜ」多目的ホール
- 関連事業 星野小学校児童による星野太鼓の演奏(奉納終了後)
- 問い合わせ 星野支所総務課 (052・3112)

南北朝の歴史に触れよう

「五條家御旗まつり」

南北朝の親政を目指し、征西將軍懷良・良成兩親王に従い、現在も大楠に眠られる良成親王の御墓を守る五條頼元卿一族らの遺徳をしのぶ「五條家御旗祭」を開催します。当日は五條家に伝わる、門外不出の国指定重要文化財「金鳥の御旗」「五条家文書」を一般公開します。

- 日時 9月23日(祝)10時
- 場所 五條邸(黒木町旧大淵小学校前※駐車場は「げんき館おぶち」)
- 問い合わせ 五條家宝物顕彰会長 月足さん (045・0140)

地元の皆さんによるだご汁定食や農産物の販売あり
「鹿里 棚田 彼岸花まつり」



星野村の北西、標高400メートルの山腹に、黄金色に輝く稲穂と棚田を縁取る赤い彼岸花の美しさをお楽しみください。

期間中は、地元グループ「子鹿の里」によるだご汁定食や農産物の販売、22日は餅つきが開催されます。また、SNSを利用した特典付きキャンペーンもあります。皆さん、ぜひお越しください。

- 期日 9月20日(金)〜22日(日)
- 会場 星野村鹿里棚田
- 問い合わせ 鹿里ふるさと会樋口さん (090・4346・2560)

募集

八女福島燈籠人形鑑賞とちよっとディープな町家ツアー

普段見学できない燈籠人形の舞台裏と、ちよっとディープな町並みをご案内します。

- 日時 9月21日(土)13時〜16時※12時30分に伝統工芸館前集合。
- 募集人数 15人(先着順)
- 会場 福島八幡宮(宮野町)
- 参加費 千円(保険代、プチプレゼント付き)
- 申込・問い合わせ 八女福島観光協会藤吉さん (024・8302)



棚田と彼岸花の見学ツアー

彼岸花が咲く棚田の風景を眺める見学ツアーを行います。マイクロバスで棚田を巡り、昼食は棚田米の羽釜炊きご飯をいただきます。その他に笠原棚田米プロジェクトの紹介や農家との座談会、農産物販売、ヤギ見学などを予定しています。参加費無料。

- 日時 9月23日(祝)10時〜15時30分※10時に八女市役所黒木支所駐車場に集合。
- 募集人数 25人(先着順)
- 申込・問い合わせ 山村塾事務局 (042・4300)



詳しくは山村塾ホームページをご覧ください。



10月から幼児教育・保育の無償化が始まります

10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、市では8月に説明会を実施しました。詳細についての問い合わせは、子育て支援課までお願いします。

●問い合わせ＝子育て支援課ことも保育係
(☎23・1351)



幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する子ども

【対象者・利用料】

幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳までの全ての子どもの利用料が無償化されます。

▼無償化の期間は、満3歳になった後の4月1日から小学校入学前までの3年間です。ただし、幼稚園については、入園できる時期に合わせて、満3歳から無償化されます。

▼子ども・子育て支援新制度に移行していない幼稚園（以下「未移行幼稚園」）については、月額上限25700円です。

▼食料費、通園送迎費、行事費などは、これまでどおり保護者負担になります。

ただし、年収360万円未満相当世帯の子どもと第3子以降の子どもについては、副食（おかず・おやつ等）の費

認定こども園等を

用が免除されます。

▼0歳から2歳までの子どもについては、住民税非課税世帯を対象に利用料が無償化されます。

▼子どもが2人以上の世帯の負担軽減の観点から、保育所等を利用する最年長の子どもを第1子とし、0歳から2歳までの第2子は半額、第3子以降は無償となります。年収360万円未満相当世帯については、第1子の年齢は問いません。

【対象となる施設・事業】

幼稚園、保育所、認定こども園に加え、地域型保育、企業主導型保育事業（標準的な利用料）も同様に無償化の対象とされます。

幼稚園等の預かり保育を利用する子ども

【対象者・利用料】

▼無償化の対象となるためには、保育の必要性について市の認定が必要です。保育の必要性の認定については、就労等の要件（認可保育所の利用と同等の要件）があります。原則として、通われている幼稚園等を経由しての申請となります。

▼幼稚園等の利用に加え、利用日数に応じて、最大月額11300円までの範囲で預かり保育の利用料が無償化されます。満3歳になった日から満3歳になった後の最初の3月31日までの住民税非課税世帯の子どもは、最大月額16300円までの範囲で無償化されます。



認可外保育施設等を利用する子ども

【対象者・利用料】

▼無償化の対象となるためには、保育の必要性について市の認定が必要です。保育の必要性の認定については、就労等の要件（認可保育所の利用と同等の要件）があります。保育所、認定こども園等を利用していない子どもが対象となります。

▼3歳から5歳までの子どもは月額37000円まで、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもは月額42000円までの範

囲で利用料が無償化されます。

【対象となる施設・事業】

認可外保育施設に加え、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業を対象とします。認可外保育施設には、ベビーシッター、認可外の事業所内保育等を含みます。認可外保育施設が無償化の対象となるためには、県に届出を行い、国が定める基準を満たすことが必要です（基準については、5年間の猶予期間があります）。

児童発達支援等を利用する子ども

【対象者・利用料】

就学前の障害児を支援するため、3歳から5歳までの障害のある子どもの児童発達支援等の利用料が無償化されます。無償化の対象となる期間は、満3歳になった後の4月1日から小学校入学前までの3年間です。

【対象となるサービス】

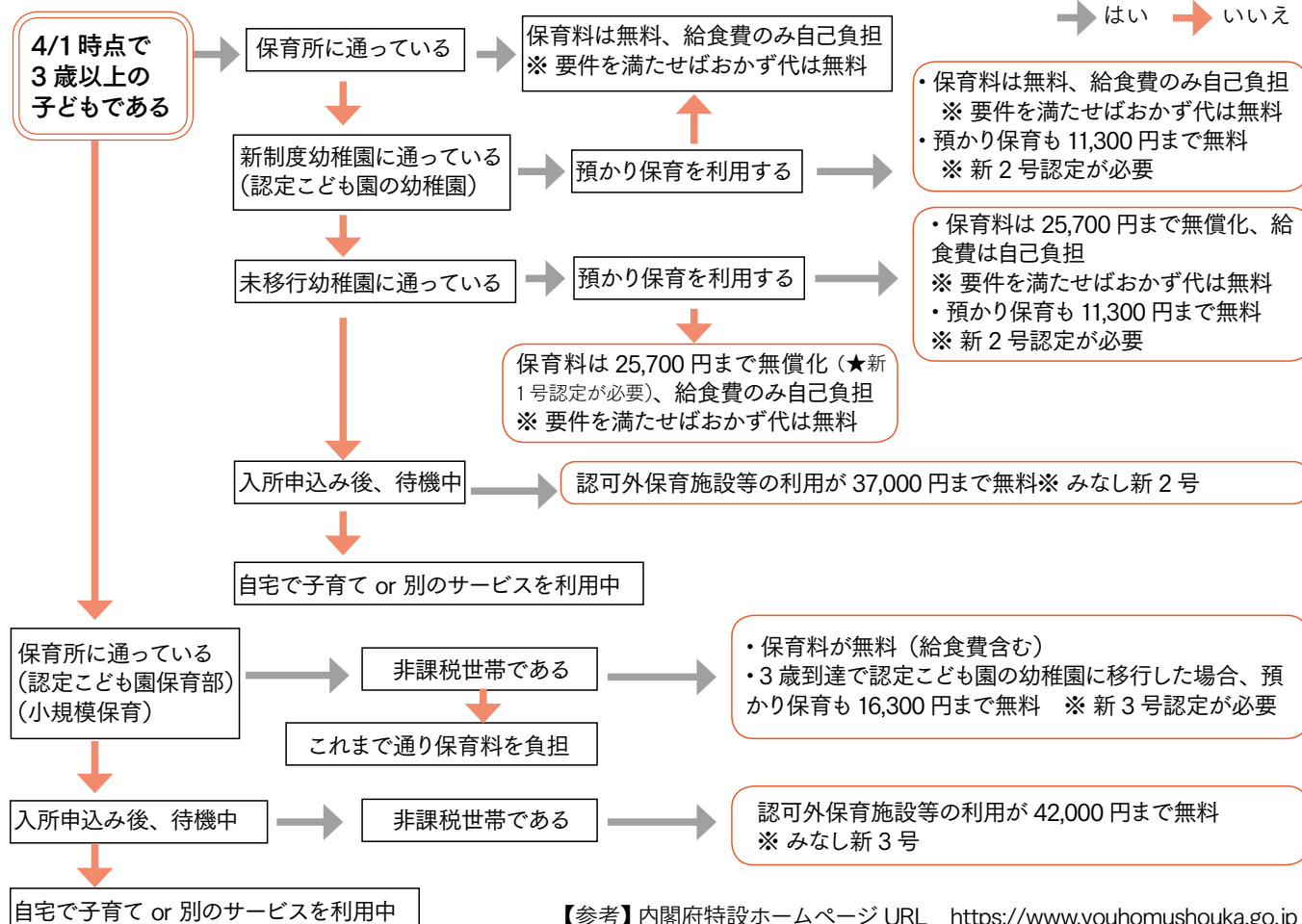
児童発達支援、医療型児童発達支援、居宅訪問型児童発達支援、保育所等訪問支援、福祉型

障害児入所施設、医療型障害児入所施設。ご利用の障害児サービス事業所との間で、年齢を伝えるなどして無償化対象であることを事前にご確認ください。また、これらのサービスと幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する場合は、両方とも無償化の対象となります。利用者負担以外の費用である食費や医療費等はこれまでどおり保護者負担になります。

無償化 フローチャート

お子さまに必要な手続きを確認ください（今回の無償化の一般的な利用例です）

→ はい → いいえ



【参考】内閣府特設ホームページ URL <https://www.youhomushouka.go.jp>

平和の灯に誓う

8月6日は広島原爆の日。毎年この日、八女市では広島原爆の灯が燃え続ける平和の広場（八女市星野村）で「平和祈念式典」を開催しています。今年は台風のために式典は中止となりましたが、6日と7日に星野支所大集会室に原爆の灯をともし、献花台を設置しました。市内小中学校等から贈られた千羽鶴も献呈され、訪れた人たちは原爆死没者のご冥福と世界平和を祈念しました。広島市長のメッセージと、星野小中学校児童生徒代表のメッセージを紙面にて紹介します（メッセージは、式典中止決定前にいただいているものです）。



（上）星野支所に設置された献花台に多くの人が花を手向けました。
（下）市内小中学校、デイサービスの利用者、図書館利用者などからの千羽鶴の展示。
（左）広島市からいただいた「被爆アオギリ2世」は、平和の広場で平和への願いとともにすくすくと成長しています。

広島市長からのメッセージ

「平和祈念式典」が開催されるに当たり、メッセージをお送りいたします。

1945年8月6日8時15分、広島の上に「絶対悪」である原子爆弾が炸裂し、立ち昇ったきのこ雲の下、何の罪もない多くの命が奪われ、街は破壊し尽くされました。かろうじて生き延びた被爆者も脳裏に焼き付いた地獄絵図と放射線障害により、心身は蝕まれ、今なお苦悩の根源となっています。

あれから74年、世界にはいまだ約1万4千発の核兵器が存在し、意図的であれ偶発的であれ、核兵器が炸裂したあの日の広島を姿を再現させ、人々を苦難に陥れる可能性が高まっています。また、世界では自国第一主義が台頭し、核兵器の近代化が進められるなど、各国間に東西冷戦期の緊張関係が再現しかねない状況にあります。人類は、歴史を忘れ、あるいは直視することを止めたとき、再び重大な過ちを犯してしまいます。だからこそ、私たち市民社会は、「ヒロシマ」を「継続」して語り伝え、核兵器廃絶に向けた取り組みが、各国の為政者の「理性」に基づく行動によって「継続」するようにしなければなりません。

一昨年、核兵器禁止条約の成立に貢献したICANがノーベル平和賞を受賞するなど、被爆者の思いが世界に広まりつつあります。被爆の実相を知り、核兵器のない世界の実現に向けた努力を行うことの重要性

が改めて認識されるようになる中、各国の為政者には、NPT（核不拡散条約）に義務付けられた核軍縮を誠実に履行し、さらに核兵器禁止条約を核兵器のない世界への一里塚とするための取り組みを進めることが求められています。

為政者が「理性」と洞察力を持って核兵器廃絶に向かって行動するため、市民社会は多様性を尊重しながら互いに信頼関係を醸成し、核兵器廃絶を人類共通の価値観にすることが重要です。そうした意味から、皆さまが、平和のシンボルである原爆の火が灯る「平和の塔」の下で、今年も「平和祈念式典」を開催され、千羽鶴献呈や合唱などを通じて、核兵器のない平和な世界への切なる願いを、次代を担う若者を始め多くの方々に伝えられることは誠に意義深く、その取り組みに対し深く敬意を表します。皆さんの平和への思いは、この地に根付いた「被爆アオギリ二世」と共に成長し、核兵器廃絶に向けた大きな力となるはずです。

本市も、八女市を始めとする世界の163か国・地域の7700を超える平和首長会議の加盟都市とともに、為政者の行動を後押しする環境づくりに全力で取り組んでいく所存です。皆さまには、今後とも「絶対悪」である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に向け、共に力を尽くし行動してくださることを心から期待しています。

終わりに、「平和祈念式典」の御成功と御参会の皆さまの今後ますますの御健勝と御多幸を心よりお祈りいたします。

令和元年8月6日 広島市長 松井一實

平和の誓い

令和元年8月6日
八女市立星野中学校 代表 柴田知歩

「助けて、助けて、お父さん、お母さん、先生、助けて。」

修学旅行で訪れた広島で、語り部の方が当時の惨状を詳細に話して下さいました。その当時、どんなに強く願っても、誰かに助けてほしいと思っても、自分の力でどうにかするしかない、そういう状況に人々は立たされていました。

74年前の今日、たった一発の原子爆弾があまりにも大勢の人々の命を、そして日常を一瞬のうちに奪いました。死者はおよそ14万人。かろうじて生き残った人たちは体だけでなく心までも深く深く傷つけられ、そしてその傷は決して消えることなく、今もお苦しめられています。もう二度とこのような悲劇を繰り返さないため、私たちは人類のこの過ちを深く見つめ、次の世代に伝えていかなければなりません。

私たちのふる里であるこの星野村では、あの日、山本達雄さんが広島から持ち帰られた「平和の火」が今も燃え続けています。当時に思いを馳せると、達雄さんがいつたいどのような気持ちでこの火を持ち帰られたのか、そしてどのような気持ちでこの火を灯し続けてこられたのか考えさせられ、想像

するだけで胸が痛みます。息子の拓道さんは、私たちに次のような事をおっしゃいました。

「これから先、原爆のことを語ることでできる体験者は、どんどん減っていくでしょう。だからこそ、『平和の火』があるこの星野村の皆さんが、世界に核兵器の恐ろしさを伝え、そして平和を実現する架け橋となってほしいと思います。」

この言葉は、私たちが何をすべきか、そして何ができるのかを問い続け、私たちの心を強く揺さぶり続けています。

これから私たち星野中学校在校生42名は、カンタータ「この灯を永遠に」を合唱します。山本さんの思いや平和を願う人々の願いが、この星野村から世界中に伝わるよう、気持ちを込めて歌いたいと思います。

今、世界中を見渡してみると、争いのない平和な国もあれば、戦いで人々の命がおびやかされている国もあります。この地球上から戦争がなくなり、本当に平和な世の中を世界中に広めるため、まずは私たちがこの火を灯し続け、平和への思いを発信していきたいと思えます。

平和を伝える

令和元年8月6日 八女市立星野小学校 代表 原田万喜

みなさんは、子どもや友達、家族に、戦争があったことを伝えたことがありますか。私はこれまでを振り返ってみると伝える、ということをしていませんでした。

わたしは、戦争を経験していません。だから、戦争で受けた苦しみ、痛さがわからないのです。でも想像してみると、その苦しみ痛さというのは、私の想像より何倍、何10倍というはかりしれないものだろうと思います。しかし、その、恐ろしい争いが、この世界のどこかで、まだ起こっているのです。その人を苦しめ、不幸にしてしまう戦争をなくすために、戦争というものがどんなに酷いものか、戦争を知らない人たちが若い世代の人に伝え、このような戦争が起こらないようにしなければいけません。

今から、74年前に、日本は他の国と戦争をしていました。その頃の日本は、勝つことだけを考えていました。午前8時15分、世界で初めて原子爆弾が広島に落とされました。この一発の爆弾によって、約14万人の人が被害に遭い、広島町は一瞬で焼け野原になりました。「誰か、誰か水を下さい。」と裸足で駆けまわっている人や「熱い、熱い。」と皮膚をたらして歩く人がたくさんいたそうです。

星野村から出征し、広島で軍務についていた山本達雄さんは、原子爆弾が落とされた時に、汽車に乗っていました。すると、ぴかっと光ったと同時にものすごい熱風が汽車を襲いました。奇跡的に助かった山本さんが汽車から出ると、辺り一面炎に包まれていました。広島には、書店

を営んでいるおじさんがいました。山本さんは、必死の思いでおじさんを探しましたが、見つかることはできませんでした。戦争が終わり星野村に帰る日、山本さんはおじさんが営んでいた書店があったところの地下で燃えていた火を、おじさんの形見として星野村に持ち帰ることにしました。山本さんはその火をおじさんを奪った「恨みの火」として灯し続けました。しかし、時間が経つにつれ「うらんではいかん。うらみをはらすとまたうらまれ、戦は繰り返される。戦をなくすしかない。」と考えられたそうです。その山本さんの心が、「平和を願う火」としてこの平和の塔に灯されています。

二度とこのような悲惨で残酷な世の中にならないためには、人を差別したり、恨んだり、復讐の心を持ちたりしないことだと思います。人と人同士が助け合い、支え合い、尊重しあうことが大切だと思います。私たちの周りでも、言い争いやけんかが起きます。それは、戦争につながる、小さな一つだと思えます。だから、一人一人が、思いやりの心を持ち、手と手を取り合って、協力していかなければならないのです。うらみやにくしみを持ち続けても何も解決しません。違いを認め合い、相手の立場になって考えることが平和だと思います。

争いがなく、家族や友達と楽しく幸せに生活できるようにく学習し、戦争について知り、戦争について考え、私たちより後の世代もその先もずっと平和であるようにこれから伝えていきたいと思えます。

シリーズ
教科書でたどる部落の歴史②

江戸時代の身分制度

「士・農・工・商」という身分制度ではなかった

江戸時代の身分制度について、かつて小学校では「士・農・工・商・さらに低い身分の人々」と学習していました。しかし現在では、このような身分制度ではなかったことが明らかに、教科書の記述内容も変わってきました。支配者としての武士は変わりませんが、城下町に住む人が町人身分（職人・商人などの区別はありません）であり、農村に住む人が百姓身分（農

業以外の仕事に従事していても百姓身分）となります。百姓身分・町人身分とされた人々に身分の下はありませんでした。「さらに低い身分」と記述されていた被差別民衆は、別の身分として、「百姓や町人とは区別され、差別された人々」という記述に変わってきました。

人々の安心・安全を守る役目

百姓身分とされた農民の人たちが、役目として年貢を納めたように、被差別民衆には、死んだ牛馬

小学校6年生の社会科教科書（日本の歴史）では、江戸時代の「人々の暮らしと身分」という単元の中で、身分制度について学習します。しかし、その内容は、以前と比べ大きく変わってきています。

の処理と町や村の巡回・警備が役目として義務付けられていました。牛馬の素早い処理は、伝染病などの疫病を防ぎました。また、盗難に遭わないよう、作物の収穫期には田畑を巡回していました。こうした役目によって、当時の人々は安心・安全な生活を送ることが出来たのです。

貧しい暮らしではなかった

被差別民衆には、農地を持ち年貢を納めた人もいれば、古くから伝わる芸能に携わる人もいました。また、担わされた役目との関係から、牛馬の皮をなめしたり、なめた革を使って、雪駄などの履物



雪駄づくりの材料となるシラタケ（黒木町）



雪駄と雪駄づくりに必要な材料や道具（久留米市人権啓発センター）

や太鼓づくりに関わる人もいました。雪駄の売買などについて、近くの村との交流が行われていたことを示す文書も、八女市内の元庄屋の日記から確認することができます。

このように、被差別民衆は、厳しい差別を受けながらも、様々な仕事に従事することで一定の収入を得る人が多く、決して貧しい暮らしではなかったことが明らかになっています。

【現代語訳】

差別された村から裏付（雪駄）を二足買ったので代金として銀一匁二分を支払った



松浦家文書より

ハ女シニア ドライビングスクール

受講生
募集

運転に不安を感じ
ていませんか？

ヒヤリとす
ることが多
くなった

運転すると
すごく疲れる

ブレーキと
アクセル間
違いそうに
なった

高齢者の交通事故が近年大きな社会問題となっており、今や、自動車は高齢者にとっても欠かすことのできない大切な移動手段。一方、加齢による身体機能の低下は、運転能力にも重大な影響を及ぼす危険性があると言われる。高齢者やそのご家族の中には、日々運転に不安を感じている人も多くはないでしょうか。

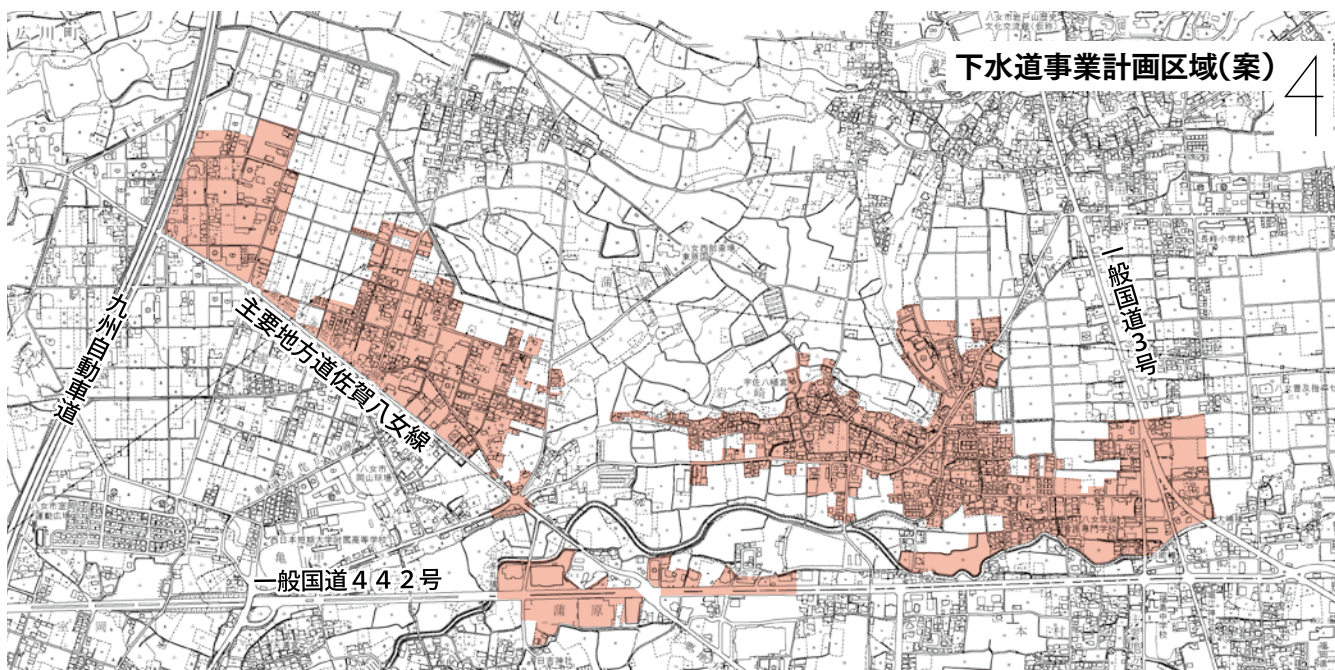
そこで、このドライビングスクールを受講して、運転技術や知識を再度見直してみたいかがですか。本スクールでは試験を行うようなことはありませんので、お気軽にお申し込みください。

- 日時 10月11日(金)・11月1日(金) 14時～16時
- スクールの内容(予定) Ⅱ
- Ⅱ八女警察署の講話
- Ⅲ乗車教習①出会い頭事故の危険体験②ペダルの踏み間違い体験、バック体験③死角体験、クイックアームステップ体験等
- 定員 Ⅱ各日20人※先着
- 費用 Ⅱ無料(移動費等は自己負担でお願いします)
- 対象 Ⅱ普通自動車の免許を有し八女市にお住まいの65歳以上の人
- 申込 Ⅱ申込書を提出するか電話による申し込みのどちらかを防災安全課までお願いします。※申込書は防災安全課またはホームページにあります。
- 申込期限 Ⅱ9月27日(金) 17時15分
- 当日準備するもの Ⅱ①運転免許証②運転しやすい格好
- 開催場所 Ⅱ八女中央自動車学校(八女市平田) ※駐車スペースに限りがあるため、できるだけ乗り合わせでお越しください。
- 申込・問い合わせ Ⅱ防災安全課生活安全係(☎24・8146 / FAX 23・2583)

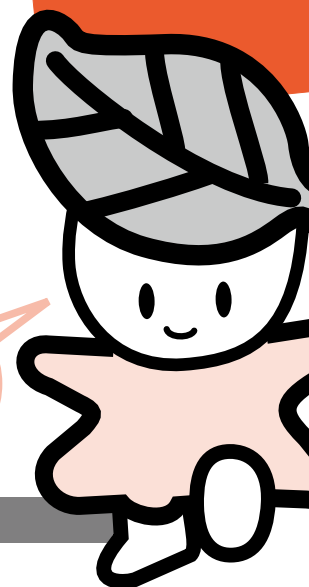
下水道事業説明会を開催します

下図の着色した区域について、下水道事業を計画しています。地元行政区での説明会に出席できない人、そのほか希望される人の参加をお願いします。

- 区域=下図参照(龍ヶ原、蒲原、杉町、岩崎、大島の着色範囲)
- 日時=9月11日(水) 19時30分～
- 会場=おりなす八女研修棟第3研修室
- 問い合わせ=上下水道局下水道工務係(☎23・1670)



八女市への応援、 ありがとうがつづいていきます



「八女市ふるさと支援寄附（ふるさと納税）」は、生まれ育ったふるさとや、関心がある自治体を気軽に応援できる制度です。平成30年度も市内外からたくさんの方に寄附をいただき、ありがとうございました。寄附状況や主な寄附金の使途について報告します。

約1億
4700万
円！

▼平成30年度 八女市ふるさと支援寄附の使途別寄附状況

事業名	件数	金額
地場産品発掘・ブランド化事業	2,211件	42,685,000円
未来を担う子どもの教育及び少子化対策事業	2,675件	54,237,000円
観光振興・交流事業	344件	8,175,000円
環境保全事業	724件	13,103,000円
指定なし	1,433件	28,848,000円
合計	7,287件	147,048,000円

八女を離れている家族や友人などへご紹介ください

八女市では、豊かな自然や文化を後世に引き継ぎ、魅力にあふれた八女市を育んでいくため、平成19年度から「八女市ふるさと支援寄附基金」を設置し、全国のたくさんの方から温かいご寄附をいただいています。ご寄附にあたり、八女市が必ずしも「生まれ故郷」である必要はありません。八女を離れているご家族やご友人などに、ふるさと支援寄附をご紹介ください。ご賛同いただけるすべての皆さまからの「ふるさと支援寄附」をお待ちしています。

●八女市ふるさと支援寄附に関する問い合わせ〓JT Bふるさと納税コールセンター（業務代行委託先） 〓0570・666・532

《ご注意ください》

八女市民の方も、八女市ふるさと支援寄附に対して、寄附をしていただけますが、制度上、返礼品の提供はありませんのでご了承ください。

返礼品協力事業者募集中！

八女市ではふるさと支援寄附をしていただいた全国の皆さまへ、感謝の気持ちと八女市の魅力を伝えるため、返礼品を贈呈しています。八女の魅力発信につながる「返礼品（地場産品に限る）」を提案していただける、市内の事業者を募集しています。

事業者要件および応募商品の要件については、八女市ホームページをご覧ください。希望される場合は企画政策課企画政策係（〓24・9009）までご連絡ください。

主なふるさと支援寄附の使い道

※このほか各事業の財源として活用しています。

メイド・イン・ヤメ推進事業（伝統工芸）

平成30年10月に世界で活躍するデザイナー5人が八女市に滞在し、八女のさまざまな伝統工芸の歴史や技を学び、それを生かして新しい作品を作り上げるという事業を行いました。八女のものづくりの技とデザイナーのコラボで、どのような作品が生み出されるのか期待が高まります。



石材工房の見学

レクリエーション・スポーツ大会事業・健康づくり事業



スポーツ健康づくりフェスタ

八女市では、平成28年5月に「スポーツ・健康づくり都市」を宣言し、市民一人ひとりが健康に対して意識を高め、積極的にスポーツに親しみ、健康寿命の延伸をめざすまちづくりに取り組んでいます。平成30年度は、ふれあいスポーツフェスタ（11月）やスポーツ健康づくりフェスタ（7月）等を開催し、市民に対して健康への意識を高めることができました。

学校教育用コンピュータ整備事業

授業の効率化と質の高い教育を行うために、市内の小中学校に電子黒板を設置しました。これにより先生の授業負担も軽減され、子どもにかかる時間が増えることで、授業内容の充実化を図ることができました。



電子黒板を使った授業

八女市の情報公開・個人情報保護制度

【情報公開制度】

情報公開制度は、「知る権利」を保障し、市民をはじめとする多くの皆さんに市政の内容や市民の活動に必要な情報を公開する制度です。市が「説明責任」を果たすことによって、市民が参加しやすく、より公正で開かれた市政を目指す。

▼公文書公開の実施状況（平成30年度）

請求件数	52件
公開	22件
部分公開	16件
非公開	1件
不存在	12件
取り下げ	1件
審査請求	1件

このほか、要介護認定・要支援認定関係情報の公開規程による請求は2369件でした。

【個人情報保護制度】

八女市個人情報保護条例により、市の保有する個人情報を適正に取り扱うためのルールを定めています。それとともに、自分の個人情報の開示などを請求する権利を保障することにより、市政の適正かつ円滑な運営を図りながら、市民の皆さんの権利利益を保護しています。

▼個人情報開示の実施状況（平成30年度）

開示請求	12件
訂正等請求	0件
目的外利用	2件
外部提供	1件
審査請求	0件

情報公開制度・個人情報保護制度の適正な運用を図るため、次の機関を設置しています。

【八女市情報公開・個人情報保護審査会】

学識経験者など5人の委員で構成され、公平な第三者機関として、公文書の公開および個人情報の開示等の請求に対する決定について、審査請求がされた場合に調査審議します。平成30年度は4回開催しました。

【八女市情報公開・個人情報保護審議会】

学識経験者など5人の委員で構成され、公平な第三者機関として、情報公開制度および個人情報保護制度に関する重要事項について調査審議します。平成30年度は1回開催しました。

●問い合わせ 総務課総務法係
(☎23・1111)

※制度に関するご案内は、市のホームページにも掲載しています。

台風や大雨に注意しましょう 八女消防本部

これからは秋雨前線や台風が多く発生する時季となります。テレビやラジオで台風や大雨などに関する情報をチェックし、少しでも危険や不安に感じたら、早めの避難を心掛けましょう。

《秋の台風の特徴》

秋の台風は、夏の台風に比べ、移動するスピードが速いのが特徴です。そのため突風が起こりやすく、台風が発生してから日本に上陸するまでの時間も早くなります。こまめに台風情報を確認し、早めの対応を心がけましょう。



防災ラジオは設置していますか

八女市では全世帯の世帯主に対し、防災ラジオを無償で貸与しています。受け取っていない、故障しているなどの場合は早めに企画政策課（旧八女地域にお住まいの人）、各支所総務課（旧町村地域にお住まいの人）へ問い合わせください。

●問い合わせ＝企画政策課秘書広報係
(☎23・1110) または各支所総務課



キリトリセン

郵便はがき

8 3 4 - 8 7 9 0

料金受取人払

八女局

承認

548

差出有効期限
令和2年6月
30日まで

〈受取人〉

八女市本町647番地

(切手不用)

八女市長 行



8 3 4 8 7 9 0

7

キリトリセン

《回答が必要な方は、住所・氏名・電話番号の記入をお願いします。》

ご住所

(フリガナ)
お名前

年齢 歳 (性別) 男・女 ☎

あなたの声を届けてください！

皆さんが日ごろ八女市に対して思っていることを、市長に届けてください。将来の八女市づくりのため問題点は改善し、建設的な内容については実現に向けて努力してまいります。なお、市の事務と関係ないものについては回答しておりませんので、ご了承ください。

○市長室直通ファクスも市内からは無料でご利用いただけます。

0120・24・4554 (フリーダイヤル)

消費生活 そうだん

56

消費者契約法が改正され、身近な トラブルに対応しやすくなりました

消費者契約法は、消費者契約に適用される法律です。さまざまな消費者トラブル、とりわけ悪質商法など不適切な勧誘による契約を取り消すことができる制度が定められています。平成30年度に改正され、今年6月から施行されています。その改正ポイントをご紹介します。

【就活商法】

「大学周辺で『就活生の意識調査』と言って声をかけられ、連絡先を教えた。後日電話で無料の就職セミナーに参加するよう誘われたので参加するとそのまま事務所で『あなたは一生成功しない』などと不安をあおられ、就職活動サポートという有料セミナーを勧誘され契約してしまった」

このように消費者の社会経験が乏しいことに事業者がつけ込んで不安をあおり、願望を実現するためにはこの契約が必要であるとウソを告げて勧誘をした契約は、取り消しができることになりました。事例のような就職だけでなく、結婚や生計など社会生活上の重要な事項、また容姿・体型など身体のことに関する重要な事項において、このようなふ

さわしくない勧誘をされ契約した時には、取り消すことができます。詳細は、消費生活センターに相談ください。

●消費生活相談・問い合わせⅡ八女市消費生活センター 平日8時30分～16時30分 ☎23・1183

消費者ホットライン188

消費者トラブルで困っていることはありませんか？そんなときは一人で悩まずに、全国どこからでも3桁の電話番号でつながる消費者ホットライン「188(いやや!)」にご相談ください。専門の相談員がトラブル解決を支援します。



消費者庁消費者ホットライン188
イメージキャラクター「イヤヤン」

あなたの声をお待ちしています
市政に対するご意見や苦情、疑問など、あなたの「声」をお待ちしています。建設的なご意見やご提案については、市長や担当課などから直接ご本人へ回答もしていますので、住所・氏名・電話番号等連絡先の記入をお願いします。次のいずれかに該当するものについては、対応できない場合があります。
▽特定の個人を誹謗、中傷、非難するなどしているもの▽公の秩序または善良の風俗に反するもの▽明らかに営利を目的としているもの▽趣旨が不明確もしくは不明なもの▽同一投書者による同一趣旨のもの▽その他、市が不当と判断するもの
●問い合わせⅡ企画政策課秘書広報係 ☎23・1110

キリトリセン
ご意見記入欄 (八女市広報 R1.9)

キリトリセン

八女紫苑句会

楠茂り日矢を遮る神の庭

井上トシ子

さぼてんの株を分けあひ友を訪ふ

松延みさと

ふるさとの河原を灯す月見草

牛島 景子

鳶職の砥石枕に三尺寝

堤 多鶴子

薬膳に払ひてすがし梅雨の憂さ

中川原篤子

1. 広報紙またはホームページ（掲載可・掲載不可）

どちらかに○を付けてください。「掲載可」に○を付けられた場合は、個人が特定されることがないよう個人情報の取り扱いに十分注意し、広報紙または八女市ホームページに掲載する場合があります。ご記入のない場合は掲載不可と判断します。

2. 情報公開（公開可・公開不可）

どちらかに○を付けてください。「公開可」に○を付けられた場合は、八女市情報公開条例の規定により公開請求があった場合は公開の対象となる場合があります（個人情報を除く）。ご記入のない場合は、公開不可と判断します。



黒木町笠原の棚田での田植え

守つていき
たいとい
う気持ち
が強く
なりました。
長崎県で
島生活を経
験した後、

「植物が好きで、大学では環境や設計に関することを専攻しました。授業の一環で山村塾を訪れ、八女の棚田や地域の人の温かさに魅力を感じていました。卒業後就職し、建物を建てる際の環境影響調査をしていました。やりがいを感じていましたが、直接現場で自然や文化に関わりながら環境を

守つていき
たいとい
う気持ち
が強く
なりました。
長崎県で
島生活を経
験した後、
風景を残していきます」

ただ、どんなに景観を守るための活動を続けていても、後継者の問題等で耕作されなくなる棚田が増えるスピードは速く、もどかしい思いがあります。
農家との連携やサポートを続けて、棚田を管理する技術や知恵、米づくりのノウハウが途絶えないように、次の世代に繋いでいきたいです。交流を通して山村を守る活動を支え、大好きな棚田の風景を残していきます」

「植物が好きで、大学では環境や設計に関することを専攻しました。授業の一環で山村塾を訪れ、八女の棚田や地域の人の温かさに魅力を感じていました。卒業後就職し、建物を建てる際の環境影響調査をしていました。やりがいを感じていましたが、直接現場で自然や文化に関わりながら環境を

美しい棚田や山林の風景を守りたい

原愛子さん



直方市生まれ。県指定無形民俗文化財である「旭座人形芝居」（黒木町）にも参加。「複数人で一つの人形を動かすことは難しいけれど、息があったときに喜びを感じます」と地元の伝統文化にも積極的に挑戦中。

9月 図書館の休館日

9月の館内整理日は 27 日(金)

《本館の休館日》※月曜、館内整理日
2日(月)～12日(木)、16日(祝)、23日(祝)、27日(金)、30日(月)

《上陽・立花・矢部・星野分館の休館日》

※月曜・祝・休日、館内整理日

2日(月)、9日(月)、16日(祝)～21日(土)、23日(祝)、27日(金)、30日(月)

《黒木分館の休館日》※火曜・祝・休日、館内整理日
3日(火)、10日(火)、16日(祝)～21日(土)、24日(火)、27日(金)

9月の図書館だより

八女市立図書館(本館) ☎ 22・2504

※本館の開館時間＝平日 10 時～ 20 時
土日祝 10 時～ 18 時

黒木分館 ☎ 42・0400 矢部分館 ☎ 47・2258

立花分館 ☎ 37・0500 星野分館 ☎ 52・3120

上陽分館 ☎ 54・3131

※分館の開館時間＝ 9 時～ 17 時 30 分

ホームページ www.library.yame.fukuoka.jp (あそびに来てね！)



9月のおはなし会

幼児～小学生の皆さん対象です♪

♥本館＝ 14日、21日、28日

※いずれも土曜日 14時から

おはなしコーナー

♥黒木分館＝7日(土) 10時30分～

おはなしコーナー

9月のあかちゃんおはなし会

0～2歳くらいの赤ちゃん対象です♪

♥本館＝ 1日(日)、21日(土) 11時～2階研修室

♥黒木分館＝28日(土)10時30分～おはなしコーナー

特別整理期間に伴う休館のお知らせ

●本館

9月2日(月)～12日(木)

※2日(月)は通常休館日

●分館・移動図書館

9月16日(祝)～21日(土)

※期間中の本の返却は返却ポストをご利用ください (CD・DVDは不可)。皆さまには大変ご迷惑をおかけしますがよろしくお願い致します。



夜の図書館でこわいおはなし
7月27日(土)夜8時から八女市立図書館本館にて「夜のこわいおはなし会」を開催しました。燭台の灯がゆれる中、「おはなしおはなしの会」さんの語るおはなしや紙芝居で涼しい夏の夜になりました。



八女市立図書館の花壇に花が咲いています。これは図書館ボランティアを中心に、利用者の方々に除草・植栽をしていただいているものです。皆さん本当にありがとうございます。さまざまな図書館ボランティアが活躍され、八女市立図書館をサポートしていただいています。

図書館を彩る
明るいヒマワリ

三河小子ども料理教室開催！

三河小学校で8月7日(水)、市内の学校給食調理員の指導による子ども料理教室を開催しました。子どもたちが「食」に対する関心を深め、調理に興味を持つことを目的とするものです。当日は1年生から6年生まで36人が参加し、給食の献立「ごまじゃこごはん」「もずく汁」「野菜炒め」「フルーツゼリー」作りに挑戦しました。

子どもたちが、自分で調理ができるようになるために、一人ひとりに丁寧に指導しました。米をといだり、野菜を切ったりと、真剣に調理する姿が見られました。調理後の試食会では、自分たちの手で作った料理に大満足し、笑顔いっぱいの子どもたちでした。



みんなでパラリンピック体験

7月27日(土)上陽公民館で、わくドキ体験講座と公民館講座、子どもたちと高齢者の交流会を上陽校区青少年健全育成会と合同で開催しました。総勢60人で、午前中は手作りの竹のおわんとお箸でそうめん流しを楽しみました。午後からは上陽北浜学園の体育館で老若男女一緒に、ボッチャや卓球バレー、スポーツ車椅子競技などの障がい者スポーツで汗を流しました。貴重な体験ができ、来年の東京オリンピック・パラリンピックを一緒に楽しむことができそうです。



夜空に浮かぶ慰霊の灯火

8月17日(土)、「大淵献燈祭」がげんき館おおぶちグラウンドで開催されました。これは故人や先祖を偲び、未来の発展を祈る催しで、今年で6回目。和紙で作った高さ1.8mの燈籠の中に火を灯し、熱気球のように空高く浮かべます。約120機の燈籠が、次々と静かに夜空に舞い上がる様子は幻想的で、会場は感動に包まれました。令和にちなみ、災害や戦争がなく穏やかに過ごせる時代になるよう祈る巨大燈籠も上げられ、多くの見物客にあたたく優しい光を灯しました。



河川を守る人たちへ感謝状

福岡市で8月1日(木)に開催された福岡県河川協会通常総会において、宮野区矢部川を守り美しくする会と濱口年子さんが知事感謝状を受賞しました。

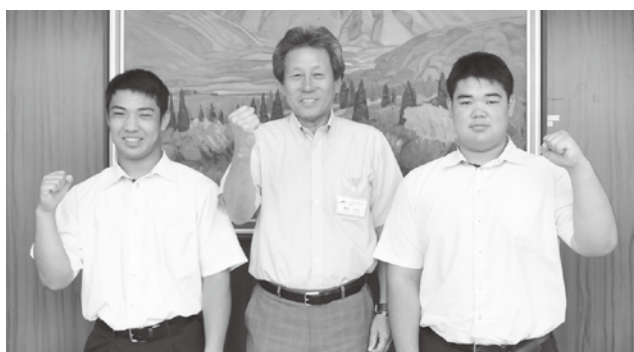
同会は、昭和63年から現在も矢部川の河川清掃や草刈りを継続して実施し河川愛護活動に取り組んできました。また濱口さんは迎春川の常時水位観測員として、平成14年から現在も観測業務に従事しています。

同会代表の井上義孝さん(宮野区長)は「今回の受賞を励みに、これからの活動もがんばりたいです」と、また濱口さんは「思いがけない受賞で感激しています」と受賞の喜びを語りました。



高校生力士兄弟、全国への挑戦

9月1日に大分県で行われる第61回全国高校相撲宇佐大会に団体で出場する伊藤宏次朗さん（博多高校3年）と伊藤拓海さん（博多高校1年）兄弟が8月6日（火）、市役所を訪問しました。報告を受けた橋本教育長は「ケガなく悔いのないようがんばってきてほしい」と激励しました。宏次朗さんは「全勝して決勝トーナメントに進みたい」と、拓海さんは「周りから注目されるような相撲をしたい」と意気込みを熱く語りました。また、宏次朗さんは第97回全国高等学校相撲選手権大会（7月26日～28日／沖縄県）、いきいき茨城ゆめ国体（9月29日～10月1日／茨城県）でも個人、団体の出場権を獲得しています。



防災における三者協定を締結

8月5日（月）、八女市は九州朝日放送株式会社（和氣靖代表取締役社長）と一般財団法人FM八女（松崎博文理事長）との間で「防災パートナーシップに関する協定」を締結し



ました。今回の協定は、三者が連携協力し、迅速に災害・防災情報を周知することで、市民の安全確保に寄与することを目的としています。三者間での映像・資料の情報提供や、電話中継での番組出演による連携対応等を行うことができるよう取り決められました。

締結式で三田村市長は「三者で協力できることを心強く感じている。さらに安全に安心して暮らせる八女市の実現のために取り組んでいきたい」とあいさつ。また、和氣代表取締役社長は「発災時の対応を効果的にするためにも平時の取り組みが何より大事。この協定が市民の皆さんの暮らしを守ることに役立てば」と抱負を述べました。

生産者の活気溢れる夏祭り

8月11日（日）、道の駅たちばなで「ひるよけ夏祭り」が行われました。地元生産者が真心込めて作った特産品や加工品等を、各部会が趣向を凝らして直接販売しました。その他、手芸品の展示販売や購入者限定のガラポン抽選会、八女茶とフルーツポンチの振る舞い等が行われました。連休中ということもあり市外からの家族連れも多く訪れ、地元の特産品に目を輝かせていました。生産者は暑さに負けず笑顔で活気に溢れ、祭りは賑わいを見せていました。



ぐる～っと探検！八女を知る2日間

7月30日（火）、31日（水）に、次代を担う市内の小学6年生を対象として八女市スーパースクール「ぐる～っと八女探検隊2019」が行われました。このイベントは、仲間との交流を深めながら八女市の自然や文化、産業等を再発見することによりふるさとを愛し、誇りをもってもらうことを目指しています。日向神ダムや馬場水車場等、2日間で9か所をまわり、八女市の自然や施設等を体験・見学しました。1日の最後の「探検新聞づくり」の時間には、子どもたちが自らカメラで撮影した写真とともに、その日の体験を振り返りながら、八女の魅力を楽しくユニークな記事に仕上げていました。2日間の集団生活を通して、新しい仲間と交流を深めることができました。



「人生100年教室」 年のせいとあきらめない介護予防

「人生100年教室」を開催しています。今や人生100年！と言われていています。100歳まで生き活きとお元気に住み慣れた地域で過ごすために、「健康に生きる」ことについて学んでみませんか。友達をお誘いのうえ多くの参加をお待ちしています。参加費無料。気軽に参加ください。

●対象Ⅱ65歳以上の八女市民。事前申し込みが必要です。

《第3回》
▽テーマ「日常生活の中でできるフレイル予防作業療法士の観点から！」

会 場	日にち	時 間
おりなす八女	9月24日(火) (第4回)	14時～ 15時30分
黒木支所大会議室	9月9日(月) (第3回)	10時～ 11時30分
地域福祉センター 研修室(上陽)	9月11日(水) (第3回)	10時～ 11時30分
立花市民センター イベントホール	9月18日(水) (第3回)	10時～ 11時30分
星野支所 2階大会議室	9月9日(月) (第3回)	14時～ 15時30分
矢部公民館 大ホール	9月13日(金) (第3回)	14時～ 15時30分

※八女文化会館以外の会場はDVDでの放映になります。内容は全地区すべて同じです。

※参加回数制限や地区制限はありませんので、何回でもどの会場でもご参加ください。

フレイルとは、「加齢により心身が老い衰えた状態」のこと。「体重減少」「疲れやすい」「歩行速度の低下」「握力の低下」「身体活動量の低下」などがフレイル状態といわれ、早期に気づき対応することで、健常に近い状態への改善や、要介護状態に至る危険を減らせることができます



▽講師：作業療法士 恒松伴典さん

《第4回》

▽テーマ「健康はお口から！自分でできるフレイル予防」

▽講師：歯科衛生士 内藤真理子さん

●日程：会場Ⅱ左上表のとおり
●申込Ⅱ株式会社リセス
(☎0942・52・4887)

健康

後縦靭帯骨化症・黄色靭帯骨化症講演会・交流会

後縦靭帯骨化症・黄色靭帯骨化症の人、家族等を対象に開催します。参加費無料。定員50人。9月27日(金)までに申し込みください。

●日時Ⅱ10月15日(火)14時～16時(受付13時30分)

●場所Ⅱ県柳川総合庁舎2階大会議室

●内容Ⅱ①講話「後縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症について」久留米大学医学部整形外科山田圭先生

②交流会

●申込・問い合わせⅡ南筑後保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係(☎0944・72・2185)

若年性認知症交流会

若年性認知症およびその家族同士の交流や情報交換を目的として、交流会を開催します。お気軽にご参加ください。参加費無料。前日までに申し込みください。

●日時Ⅱ10月12日(土)13時～15時

●場所Ⅱ久留米市役所2階くるみホール

●定員Ⅱ50人

●申込・問い合わせⅡ福岡県若年性認知症サポートセンター(☎092・574・0196)

9月24日～9月30日は「結核予防週間」です

結核は昔の病気ではありません。今でも日本では年間約1万7千人の患者が発生し、約2300人が亡くなっています。

【皆さんに知って頂きたいこと】

①予防のため、規則正しい生活で免疫力を高め、乳児にはBCGを接種させましょう。

②早期発見のため、年に1回は胸のエックス線検査を受けましょう。

う。

③咳・痰などの症状が2週間以上続く時は、早めに医療機関を受診しましょう。

④もし結核になっても、早めに薬を飲めば、ほとんどの人が治ります。

●問い合わせⅡ南筑後保健福祉環境事務所保健衛生課感染症係(☎0944・72・2812)



「岩戸山、親子星空観察会」

1500年前の古墳時代、筑紫君磐井も見ていたであろう星空を、親子で楽しみませんか!星の案内人を迎え、古代の星の話と自分で作る『星座早見盤』で岩戸山の別区から星空観察会を開催します。

- 日時＝9月21日(土)19時30分～21時※雨天時順延(22日・同時間)
- 会場＝いわいの郷 ●定員＝小学生親子20組(先着順) ●参加費＝200円(1組) ●申込期間＝8月27日(火)～9月13日(金) ●申込＝電話またはファックス(月曜日は休館のためファックスのみの受付) ●問い合わせ＝岩戸山歴史文化交流館「いわいの郷」(☎24・3200 / ☎24・3210)

八女特産の野菜や加工食品、雑貨などを販売します。出店者随時募集。

八女軽トラ市

- 期間＝9月3日(火)～16日(祝)10時～17時※最終日15時まで
- 会場＝八女市岩戸山歴史文化交流館「いわいの郷」
- 問い合わせ＝原さん(☎80・1713・3650)

もよおし

八女文化連盟美術部員 絵画三人展

立花自然と歩こう会

- 日時＝9月8日(日)9時～12時※悪天候の場合中止
- 会場＝八女観光物産館とさめき駐車場
- 問い合わせ＝同実行委員会事務局(☎22・3131)

参加自由(無料)、会員は保険あり(年500円)

- 日時＝9月8日(日)7時30分、旧白木支所集合※約2時間
- コース＝鹿伏・大内邸方面
- 問い合わせ＝白鳥さん(☎37・0038)

下水道展

下水道のことを広く知っていただくために開催されます。入場無料。クイズやゲーム、景品等を用意しています。

菊池武光公生誕700周年記念

菊池一族の歴史 ×自然×グルメ探訪ツアー



熊本県菊池市では、九州における南北朝時代の雄・菊池武光公生誕700周年を記念し、菊池一族の歴史を楽しく学びながら史跡や観光地を巡る日帰りバスツアーを開催します。

- 日時＝10月14日(祝)7時30分八女伝統工芸館駐車場集合～18時
- 内容＝記念式典、金谷俊一郎氏(歴史コメンテーター・作家)講演会、グルメ物産展、菊池神社参拝、菊池溪谷散策 ●参加費＝1人3,500円、小学生以下2,000円※中学生以下は保護者同伴(昼食つき) ●募集人数＝20人程度(先着順・最少催行人員10人) ●申込期限＝10月4日(金) ●申込方法＝参加者の氏名(ふりがな)、年齢、連絡先を明記し、ファクスまたはメールで申し込んでください。 ●申込＝(株)九州セブン観光バス ☎0968・25・5177 / ☎0968・25・5513 bus777@ivory.plala.or.jp ●問い合わせ＝菊池武光公生誕700周年プロジェクト実行委員会事務局(菊池市役所企画振興課内) ☎0968・25・7267

ご家族でご来場ください。

- 日時＝9月8日(日)10時～13時(雨天決行)
- 場所＝矢部川浄化センター「水きくら」筑後市島田754(☎0942・54・2701)
- 主催＝矢部川流域下水道推進協議会(八女市、筑後市、みやま市、広川町)、(公財)福岡県下水道管理センター
- 事務局＝筑後市上下水道課(☎0942・65・7037)

第66回地域活動講演会

- 今回は「幸せを伝える伝道師」と題し、高田大五郎さん(日本創造教育研究所)の講演。参加無料。定員40人
- 日時＝9月10日(火)19時
- 場所・問い合わせ＝ホームへ

黒木文化連盟

ルプ・ケアプラン金太郎(清水町商店街) ☎24・9657

①観月会

- 日時＝9月13日(金)19時
- 場所＝学びの館(黒木町東今)
- 催し物＝箏曲演奏・吟詠・ハーモニカ、お茶会、月見まんじゅう販売 ※雨天の場合、箏曲鑑賞・吟詠・ハーモニカは室内にて行ないます。

②冬山忌(菊池剣碑前祭)

- 黒木町に永住し、短歌会「やまなみ」を主宰された故菊池剣氏(本名松尾謙三)のご遺族を招待し、遺徳を偲びます。式典終了後、西上町公民館にて茶席設営。
- 日時＝9月29日(日)10時

お寺でLIVE2019 秋 第15回西勝寺寄席

- 上方落語御一門・桂小春団治ほか出演。放生会・町屋まつり協賛。
- 日時＝9月23日(祝)16時30分
- 会費＝2千円
- 場所＝西勝寺本堂(西紺屋町)
- 問い合わせ＝西勝寺(☎4・3411)



竹久夢二展～夢二とモリスからの伝言

竹久夢二が大きく影響を受けた、近代デザインの創始者と言われるウィリアム・モリスと夢二との思想に焦点を当てた展示会です。貴重な原画や

資料の展示、版画の展示販売、小物等のグッズ販売も行います。入場料無料。

- 日時＝9月14日(土)～10月14日(祝) 9時～17時※9月30日(月)と10月7日(月)は休館
- 特別展示＝夢二直筆絵入り帯(ゆふいん夢二工芸館所蔵)
- オープニングイベント＝9月14日(土)10時30分～藤間流藤間寿紫保社中による日本舞踊「宵待ち草」他
- ギャラリートーク＝竹久夢二研究家安達敏昭さん(期間中の日曜日14時～全5回)
- 会場・問い合わせ＝八女伝統工芸館(☎22・3131)

- 内容＝浄水場・水質センタール見学、利き水体験等
- 申込＝はがき、メール、ファクスで9月27日(金)までに申し込んでください。
- 募集人数＝50人(応募多数の場合は抽選)
- 問い合わせ＝県南広域水道企業団 浄水場水質センタール(久留米市荒木町白口55) ☎0942・27・1563

- 日時＝10月11日(金)10時～12時
- 内容＝浄水場・水質センタール見学、利き水体験等
- 申込＝はがき、メール、ファクスで9月27日(金)までに申し込んでください。
- 募集人数＝50人(応募多数の場合は抽選)
- 問い合わせ＝県南広域水道企業団 浄水場水質センタール(久留米市荒木町白口55) ☎0942・27・1563

荒木浄水場見学会

福岡県南広域水道企業団では、水道水を利用している皆さんへ水道水の安全性や水質管理などを知っていただくため、浄水場の見学会を開催されます。参加費無料。

高齢者のためのしごと・ボランティア合同説明会

おおむね60歳以上の人を対象に企業との面談ブースのほか、専門相談員が希望を丁寧に伺う相談ブースも用意しています。参加無料・申込不要。

- 日時＝9月19日(木)13時～15時30分(受付12時30分～15時)
- 会場＝久留米商工会館5階大ホール
- 問い合わせ＝福岡県70歳現役応援センタール久留米オフィス(☎0942・36・8355)

教室・講座

布えほん制作ボランティア「ふわふわ」体験講座

「ふわふわ」の製作活動を体験する講座です。型紙の取り方から製本まで、参加者が協力して1冊の布えほんを仕上げます。初めての人も大歓迎。参加費無料。

- 日時＝10月4日(金)・18日(金)13時30分～15時30分
- 場所＝八女文化会館2階研修室
- 対象＝布えほんの制作に関心があり、体験後「ふわふわ」に加入して八女市立図書館のボランティア活動が続けたいただける人
- 募集期間＝9月1日(日)から先着10人受付
- 申込・問い合わせ＝NPO法人まなびつと八媛(八女市立図書館内) ☎22・2504
- ※9月2日～12日まで八女市立図書館本館は蔵書点検のため休館ですが、電話での申し込みは可能です。

楽しく、長く続けるための読書ボランティア講演会

定員100人(先着)・無料。ファクスか郵送で9月20日(金)

2020年度生 八女筑後看護専門学校 募集

▼准看護科(募集定員 40 人) 問い合わせ＝23・6284				
	入試科目	試験日	出願期間(必着)	
1次	社会人入学試験	作文・面接	10/27(日)	9/17(火)～10/18(金)
	一般入学試験	国語・作文・面接		
2次	推薦入学試験	書類選考・面接	12/22(日)	11/18(月)～12/13(金)
	社会人入学試験	作文・面接		
3次	一般入学試験	国語・作文・面接	3/15(日)	2/10(月)～3/9(月)
	社会人入学試験	作文・面接		

▼看護科(募集定員 40 人) 問い合わせ＝24・4877				
	入試科目	試験日	出願期間(必着)	
推薦入学試験		書類選考・面接	10/27(日)	9/30(月)～10/18(金)
一般入学試験(1次)		国語・人体のしくみと働き・専門科目・面接	11/10(日)	10/15(火)～11/1(金)
一般入学試験(2次)			1/19(日)	12/23(月)～1/10(金)

木造住宅の耐震向上セミナー

木造戸建て住宅の耐震化促進についての解説や地震体感車により震度7の揺れを体感できます。参加費無料。先着100人、要事前申込。

- 日時＝9月14日(土)13時～
- 場所＝久留米市役所2階くるみホール
- 問い合わせ＝(一社)福岡市耐震推進協議会(☎092・861・9810)



八女消防本部 消防職員 採用試験

●受験資格＝平成7年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた人で、高等学校卒業程度以上の学力がある人。採用後、八女消防本部管内およびその周辺地域に居住できる人。ただし、欠格事項に該当する人は受験できません。詳細については問い合わせください。

- 受付期間＝8月26日(月)～9月13日(金)
- 試験日＝10月20日(日)
- 試験会場＝八女市立福島中学校
- 問い合わせ＝八女消防本部総務課
(☎24・0119)

文化振興課嘱託職員募集

- 募集＝文化財専門職員1人 ●応募資格＝次の要件を全て満たす人①学芸員の資格を有する人②発掘現場での文化財調査の経験がある人 ●業務内容＝整理報告書作成業務・埋蔵文化財発掘調査業務
- 受付期間＝8月26日(月)～9月9日(月) ※土日除く。郵送は9月9日(月)必着 ●試験日＝9月15日(日) ●選考方法＝書類審査、作文および面接 ●提出書類＝申込書(文化振興課に準備)、資格証明書の写し
- 申込・問い合わせ＝文化振興課文化係
(☎23・1982)

八女市働く女性の家・ 立花公民館講座

①調剤薬局事務講座(託児は先着5人まで)

調剤薬局管理士資格取得講座。当館で資格試験の受験が可能です。

- 日時Ⅱ10月1日(火)・3日(木)・8日(火)・10日(木)・15日(火)・17日(木)(全6回・最終日は試験日) 10時～16時
- テキスト代・検定料Ⅱ合計4400円
- 対象Ⅱ20代～40代で就業を希望する人
- ②かおりの講座Ⅱかおりで女子力アップⅡ

香りに癒されながら、実用

的なアロマグッズを作ります。

- 日時Ⅱ9月24日(火)・10月29日(火)・11月26日(火)全3回 10時～12時
- 材料費Ⅱ1回千円×3回
- 対象Ⅱ一般

《①②共通》

- 申込Ⅱ9月2日(月)から先着
- 定員Ⅱ各20人
- 場所Ⅱ申込・問い合わせⅡ八女市働く女性の家・立花公民館(☎37・1522) 8時30分～17時/日・祝日を除く)

総合型地域スポーツクラブ 上陽わくわくクラブ健康講座

「肩こり・腰痛の改善」を

目的に講習会を開催します。

川崎病院の理学療法士の指導により、インナーマッスルを鍛えバランスのとれた体づくりを目指します。

- 日程Ⅱ10月11日(金)・25日(金)・11月8日(金)・22日(金)・12月13日(金)
- 時間Ⅱ20時～21時30分
- 場所Ⅱ農業活性化センター(上陽)
- 参加費Ⅱ500円(5回)
- 申込期間Ⅱ9月27日(金)まで(平日8時30分～17時15分) ※申し込みは電話で受付、当日の参加も受け付けます。
- 申込・問い合わせⅡ上陽わくわくクラブ事務所(上陽支所)

募集

第3回県営住宅入居者

●募集住宅Ⅱ県内に所在する県営住宅(募集対象団地、募集戸数等詳細については募集案内書をご覧ください)

●募集案内書配布期間および申込受付期間Ⅱ9月4日(水)～9月12日(木)

●配布場所Ⅱ県住宅供給公社、同公社筑後管理事務所、大牟田出張所、市役所都市計画課、各支所窓口

●問い合わせⅡ県住宅供給公社(☎092・781・8029)

シルバー人材センター会員

働くことを通じて社会活動に参加し、仲間と共に活力ある毎を送りませんか。入会説明会は随時開催しています。

●対象Ⅱ八女市にお住いの60歳以上の人

●問い合わせⅡ▽八女広域シルバー人材センター八女本所(☎22・7430)▽立花出張所(☎37・1800)▽黒木出張所(☎42・9411)▽星野出張所(☎52・3172)

相談

全国一斉養育費相談会

司法書士が電話で養育費の相談に無料で応じます。県青年司法書士協議会等主催。

●日時Ⅱ9月7日(土)10時～16時

●相談電話Ⅱ0120・567・301(フリーダイヤル)

中小企業のための 講演会・無料法律相談会

●日にちⅡ9月20日(金)

●場所Ⅱ久留米商工会議所

①【講演会】13時30分～14時50分/「外国人雇用における留意点」/定員100人

②【相談会】15時～17時/定員8人/事業に関する相談に弁護士が応じます

《①②共通》

●申込Ⅱ久留米商工会議所(☎0942・33・0213/☎0942・33・0933) ※久留米商工会議所ホームページ内の「中小企業のための講演会および無料法律相談会」から申込書をダウンロードし、ファックスにて申し込みください。



●日時＝9/7(土)・8(日) 9:00
～17:00 ●場所＝広川町産
業展示会館 ●問＝広川町観
光協会 (☎32・5555)

2019.9.1 広報八女 22

相談はお気軽にどうぞ

無料法律相談 予約

- 9月19日(木)、10月3日(木)／相談
13:00～16:00／場所・法務局八女支
局(収入等一定額以下等の条件あり)
※予約・法テラス福岡 ☎050・
3383・5502 (平日9:00～17:00)
- 9月13日(金)13:30～16:00
／社会福祉会館※予約 ☎23・0294
- 9月20日(金)13:30～16:00
／ふじの里(黒木) ※予約 ☎42・2131
- 9月27日(金)13:30～16:00
／地域福祉センター(上陽)
※予約 ☎54・3629
- 9月20日(金)10:00～12:00／八女
商工会議所※予約 ☎22・5161

女性相談(働く女性の家 ☎37・1522)

- 9月20日(金)9:30～11:30
／働く女性の家(立花)

なんでも人権相談

(法務局 ☎23・2603)

- 9月6日(金)13:00～16:00
／社会福祉会館
- 10月1日(火)13:00～16:00
／矢部公民館
- 10月2日(水)13:00～16:00
／星野支所

行政相談(総務課 ☎23・1111)

- 9月5日(木)13:30～16:00
／社会福祉会館
- 9月18日(水)9:30～12:00
／ふじの里(黒木)
- 9月2日(月)13:30～16:00
／立花市民センター2階
- 9月10日(火)13:00～15:30
／地域福祉センター(上陽)

司法書士相談(社協 ☎23・0294)

- 9月20日(金)13:30～16:00
／社会福祉会館
- 9月13日(金)13:30～16:00
／ふじの里(黒木)

心配ごと相談(社協 ☎23・0294)

- 9月4日(水)、18日(水)
13:30～16:00／社会福祉会館
- 9月18日(水)9:30～12:00

／ふじの里(黒木)

- 9月11日(水)9:30～12:00
／かがやき(立花)
- 9月25日(水)13:30～16:00
／地域福祉センター(上陽)

日本政策金融公庫相談会

- 9月6日(金)13:00～15:00
／八女商工会議所

定例税務相談会(毎月第2月曜日)

- 9月9日(月)10:00～15:00
／八女商工会議所

経営支援相談会 予約

- 9月17日(火)13:30～16:30／八女
商工会議所 ※予約 ☎22・5161

補聴器の修理と相談

(福祉課 ☎23・1335)

- 9月17日(火)13:00～14:30
／八女市役所
- 9月13日(金)・17日(火)10:00～12:00
／ふじの里(黒木)
- 9月17日(火)10:00～12:00
／かがやき(立花)
- 9月12日(木)9:00～10:00
／地域福祉センター(上陽)
- 9月26日(木)10:00～12:00
／星野支所

生活困窮者の自立支援相談

(福祉課生活支援係 ☎23・1350)

生活保護に至る前のさまざまな事情
で困っている方はご相談ください。

- 平日8:30～17:00

女性のための相談

(男女共同参画推進課 ☎23・1314)

夫や恋人からのDV、夫婦間・男女間の
問題、セクハラなどご相談ください。

- 平日9:00～17:00

年金相談 予約

久留米年金事務所のお客様相談室へ。
予約をすれば待ち時間が少なくなります。
※基礎年金番号をお知らせください。
● 月曜(休日の場合は翌日)8:30～
19:00／火曜～金曜8:30～17:15／
毎月第2土曜日9:30～16:00
※予約(☎0942・33・6215)

家庭児童相談室 予約

- 平日9:30～16:00／市役所内
※予約(☎23・1448)

こころの健康相談 予約

「気が落ち込む」「家族の飲酒問題」「子
どもが引きこもり」などの心配事は一人
で考えず、専門家に相談してください。

- 第1～第4月曜日14:30～16:00／
南筑後保健福祉環境事務所分庁舎
(八女総合庁舎)
※予約 ☎0944・72・2176

弁護士多重債務・労働問題・DV被害相談 予約

- 毎週火曜13:30～16:00／社会福祉
会館※予約 ☎0942・30・0144

消費生活相談(来訪または電話相談)

- 月～金曜8:30～16:30／八女市消
費生活センター ☎23・1183

消費生活無料法律相談 予約

- 9月17日(火)13:00～16:00
／八女市消費生活センター
※予約 ☎23・1183

教育相談

- 平日9:00～17:00／八女市教育委
員会 ☎0120・784・110

電話相談

教育相談 予約

- 無休・24時間受付／南筑後教育事
務所※予約 ☎0942・52・4949

養育費相談

- 平日9:00～17:00、第1・第3土日
9:00～16:00／ひとり親サポートセ
ンター ☎092・584・3931

やめ女性ホットライン

- 平日10:00～17:00/☎092・513・7337

福岡県あすばる女性相談ホットライン

- 平日9:00～17:00、金曜のみ18時～
20時30分も可／☎092・584・1266

福岡県配偶者からの暴力相談

- 月～金17:00～24:00、土日祝9:00
～24:00／☎092・663・8724

難病ホットライン

- 平日8:30～17:15／南筑後保健福祉
環境事務所(☎0944・72・2610)

高齢者総合相談窓口

(平日8:30～17:15)

【地域包括支援センター】

- 八女地域包括(本庁内) ☎23・1203
- 黒木地域包括(黒木支所内) ☎42・1119
- 立花地域包括(立花支所内) ☎24・8922

- 上陽地域包括(上陽支所内) ☎24・8315

- 矢部地域包括(矢部支所内) ☎24・9011

- 星野地域包括(星野支所内) ☎24・8212

おたんじょうびおめでとう

 内藤 綾乃 あやのちゃん H30年9月1日生(本村) 祝1歳☆生まれてきてくれてありがとう!元気に育ってね♡	 池田 蘭 らんちゃん H30年9月2日生(忠見) 去年母のお腹から八女市に籍を移しました。なかなか良いところですね。	 郡 成悠 なるくん H30年9月3日生(岩崎) なるくんお誕生日おめでとう!強くたくましく育ってね☆	 穴見 律 りつちゃん H30年9月5日生(井延) 律、いつでもどんな時も、これからもずーっと大好きだよ♡
 井上 心美 こみちゃん H30年9月6日生(忠見) いつもニコニコ笑顔の心美ちゃん♡これからも笑顔でたくさん見せてね。	 中村 健琉 けんるちゃん H30年9月6日生(黒木) 1歳のお誕生日おめでとう。あまえるほのたけちゃん。元氣いっぱい大きくなあれ。	 清藤 葵心 あきこちゃん H30年9月7日生(馬場) きいちゃん生まれてきてくれてありがとう♡元気にすくすく育ってね!	 田中 環 たまちゃん H30年9月7日生(本村) 生まれてきてくれてありがとう♡これからも元気に大きくなってね。
 矢加部 梓真 あずまちゃん H30年9月8日生(高塚) お喋り大好きあづま君♡たくさんお喋りして明るく元気に育ってね♡	 檀 菜由梨 なゆりちゃん H30年9月11日生(川大) まゆちゃん1歳おめでとう♡お兄ちゃんと仲良く笑顔で育ってね♡	 丸林 未歩 みほちゃん H30年9月12日生(緒玉) 1歳おめでとう!元気で優しい女の子になってね♡	 岡野 礼太郎 れいたろうちゃん H30年9月13日生(納楚) 癒やしと幸せをくれてありがとう!姉弟仲良く育ってね。おめでとう!
 小倉 桃李り とうりちゃん H30年9月13日生(吉田) 元気にのびのび健やかに育てー☆笑顔が癒やし!大好きだよ♡	 内藤 大晴 たいせいちゃん H30年9月13日生(黒木町) 1歳おめでとう♡お兄ちゃんお姉ちゃんと仲良く大きくなってね☆	 石橋 理子 りこちゃん H30年9月14日生(酒井田) 理子ちゃん誕生日おめでとう♡いっぱい食べて大きくなってね!	 井上 結之介 ゆいのすけちゃん H30年9月15日生(新庄) 祝1歳♡笑顔が素敵な結之介君!沢山笑って元気に育ってね♡
 柴尾 和 わかちゃん H30年9月17日生(黒木町) 祝1歳!食いしん坊の和ちゃん☆いっぱい食べて大きくなってね♡	 中島 七翔 ななとちゃん H30年9月23日生(立花町) いたずら大好き、わんぱくななと♡たくさん食べて大きくなってね!	 久木原 沙耶 さやちゃん H30年9月25日生(上郷町) 祝1歳☆笑顔いっぱい沙耶♡ねえねと仲良く元気に大きくなあれ!	 小川 明依 あけちゃん H30年9月26日生(岩崎) めいちゃんのお顔は、みんなの宝物♡生まれてきてくれてありがとう。
 井上 彩音 あやねちゃん H30年9月29日生(立花町) 1歳おめでとう!元氣いっぱいスクスク育ってね!	 溝尻 芽 めいちゃん H30年9月29日生(稲富) 1歳おめでとう!いっぱい食べていっぱい遊ぼうね!	満1歳のお子さまの写真を募集しています(ただし、市内に住民登録があるか実際に住んでいる人に限る)。氏名・生年月日・住所・簡単なコメント(30字以内)・電話番号を添えて、誕生日前月の7日までに直接お持ちいただくか、郵送でお申し込みください。応募多数の場合は先着順となります。●申し込み=企画政策課秘書広報係(☎23・1110)	

市長コラム 59

安全で住みやすい、八女市づくりのために



▽夏休みも終わり、元気に登校する児童生徒の姿も見られるようになりました。日ごろから子どもたちの通学の安全のために献身的にご尽力いただいている地域の皆さま方に、心から感謝申し上げます。▽9月21日から30日は「秋の交通安全県民運動」が実施されます。八女警察署管内の交通事故に関してはここ数年減少傾向にあるようですが、飲酒運転や交通死亡事故などの根絶には至っておらず残念です。▽最近、高齢ドライバーによる悲惨な交通事故の報道が増えています。八女市では、高齢者運転免許証自主返納支援があり、運転免許証を自主返納する70歳以上の方へタクシー共通回数券6万円分相当分を交付しています。事故の報道以来、返納する方が増えているようです。また、山間地など公共交通機関が少ない中、移動手段を確保するために、予約型乗合タクシー「ふる里タクシー」も運行しています。市内をエリアごとに自宅から目的地まで送迎する「ふる里タクシー」は、平成22年から延べ50万人の方にご利用いただいています。▽交通事故は一人一人の心がけで防げます。安全で住みやすい八女市づくりのために、さまざまな施策に取り組んでまいりますので、これからも皆さまのご協力をお願いします。



三田村 統之

広報 八女

2019 [令和元年] 9月1日号 No.1169

編集・発行 八女市役所企画政策課秘書広報係
〒834-8585 福岡県八女市本町647番地
TEL 0943・23・1110 FAX 24・8083
URL: <http://www.city.yame.fukuoka.jp/>

※この広報紙は竹パルプ10%配合の環境に配慮した紙を使用しています



編集後記

▼お盆に久しぶりに祖父母の家を訪ねました。次々と出てくる自然の恵みたっぷりの田舎料理フルコースで、お腹も心も満たされました。(Y・N)

▼八女は秋になるとさまざまなお祭りや催しで賑わいます。昨年に引き続き、旭座人形芝居に参加させていただくために浄瑠璃を練習しています。見ていただく方や先輩方のために頑張ります。(Y・Y)

▼台風一過の8月7日、星野村へ行きました。平和の広場で楽しそうに遊ぶ親子の姿を見ながら、平和であることの有難さを改めて感じました。(K・S)

災害からあなたを守る防災ラジオ

八女市の防災情報はFM八女【80.1MHz】を通じて放送します。

